



社会医療法人社団 千葉県勤労者医療協会

船橋二和病院

リハビリテーション科



アピール ポイント

01

1986年開設の歴史と地域密着

02

急性期～生活期までのケアミックス

03

退院後のフォローも実践
～外来・訪問リハ・通所リハ～



アピール
ポイント

04

幅広い疾患への対応

05

各種専門的なりハビリの実践

～小児・呼吸・嚥下～

06

ワークライフバランスを尊重する

07

臨床・教育・研究に取り組む



1981年(昭和56年)、千葉県船橋市で
民主的医療運動に支えられて開院

患者さま、地域住民のいのちと健康を守る
24時間安心してかかることができる病院

病床数 : 266床

一般病棟 141床 (HCU、産婦人科、小児科含む)

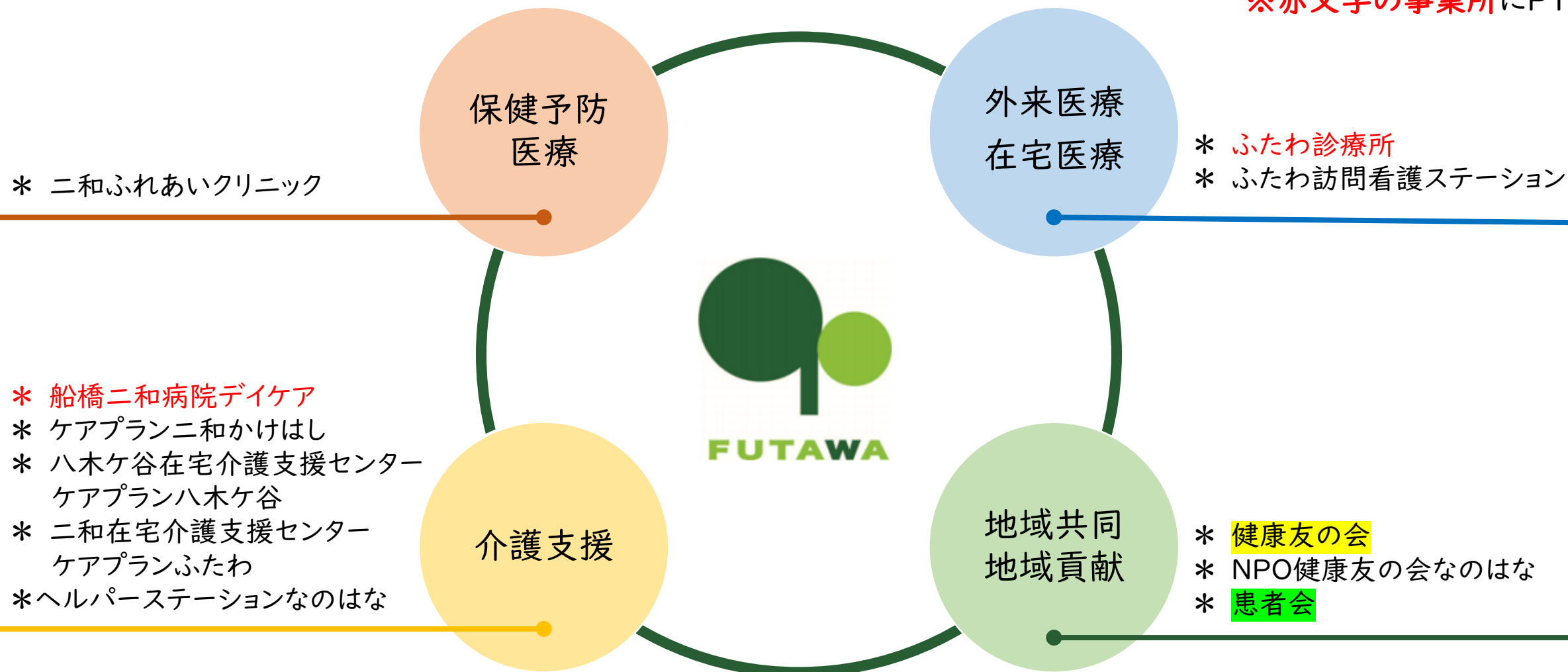
回復期病棟 31床 地域包括ケア病棟 52床

療養型病棟 47床



連携型総合医療介護 船橋二和病院グループ

※赤文字の事業所にPT配置



友の会とは地域の住民が主体となっている組織
患者会は当院通院中や退院後の患者主体の組織

理念

患者さまの**権利を尊重し**、安全で納得と満足のいく医療・介護を
地域とともにすすめます。

基本方針

- 1 わたしたちは、患者さまの権利を尊重した、**差別のない平等の**医療・介護をすすめます。
- 2 わたしたちは、安全・安心の医療・介護をすすめます。
- 3 わたしたちは、患者さまの声を受け止め、満足のいく医療・介護を追求します。
- 4 わたしたちは、**総合性と専門性**を持った医療を追求します。
- 5 わたしたちは、友の会・地域の人びとと連携をつよめ、安心して住み続けられる**まちづくり**をすすめます。
- 6 わたしたちは、医療活動の発展・職員の処遇の改善のため、経営改善の強化の活動をすすめます。
- 7 わたしたちは、職員が大切にされる環境をつくり、医療・介護の専門職の育成をすすめます

21科の診療科目

内科 循環器科 リハビリテーション科
外科 整形外科 小児科 小児外科
産婦人科 透析科 消化器科
呼吸器科 泌尿器科 耳鼻咽喉科
皮膚科 眼科 肛門科 精神科
心療内科
病理診断科 麻酔科 放射線科

リハビリテーション科では赤文字の診療科医師と一緒に仕事する機会が多いです



船橋二和病院 リハビリテーション科



リハビリ科開設 1986年



対応病期

急性期・回復期・地域包括ケア・
療養型・外来



リハ施設基準

脳血管・廃用・運動器・呼吸器
心大血管

全て基準 I



理念

患者さまファースト

PTOTSTの専門的知識・技術を最大限生かし、最適な治療・支援を提供する

地域・患者さまへ示すスタッフの姿

- ① 私たちは、常に患者さまを第一に考え・寄り添う心を忘れない。
- ② 私たちは、継続的に学び・伝え、質の高い水準の治療・支援を提供します。
- ③ 私たちは、ふたわで支援するすべての領域に対応できるように研鑽していきます。

スタッフ内での誓い

- ① 自由を実現するため、各自が自律し責任をもって行動する 「責任を伴う自由」
- ② イキイキとやりがいをもって働くことができるようみんなでフォローしあえる
- ③ 多世代を理解し、各年代が年代の役割を理解し行動する

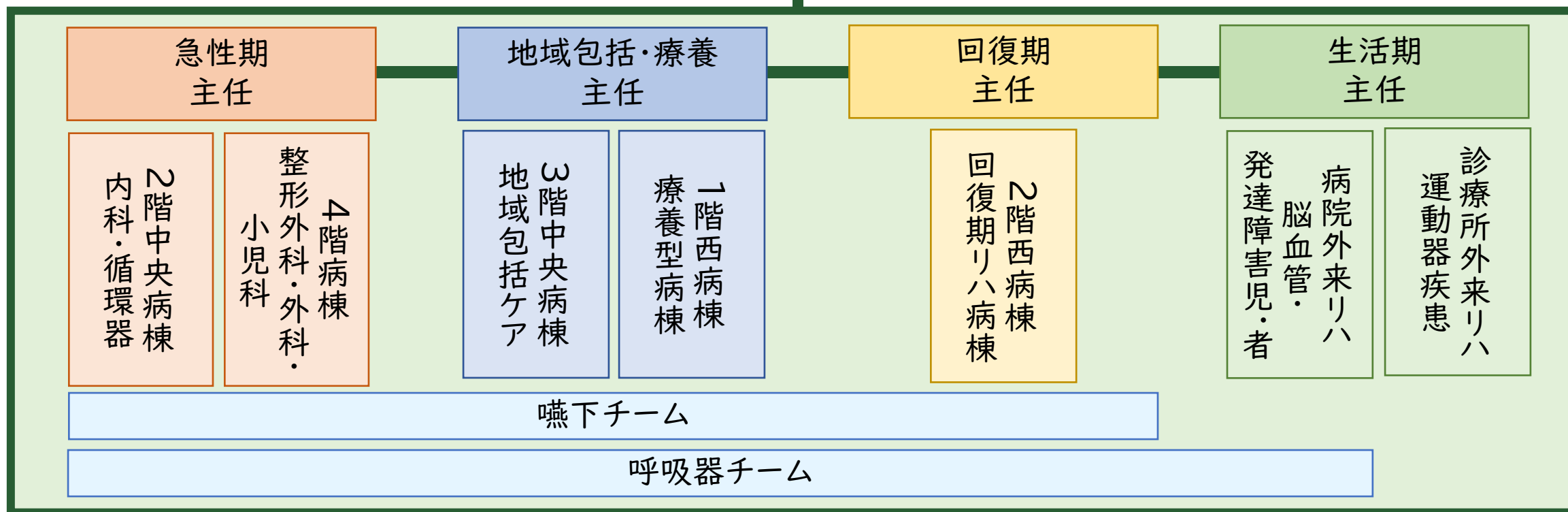
リハビリテーション科組織図

管理部

技士長

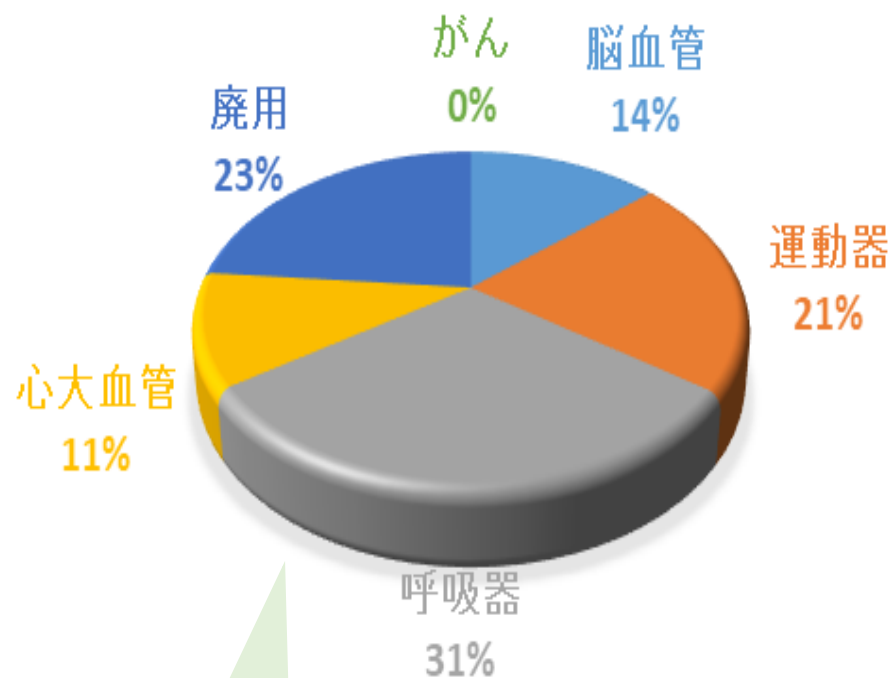
副技士長

※入院部門担当・外来部門担当



病棟チーム制を採用しています。PTOTSTは全員、どこかのチームに所属して診療します。

【入院】

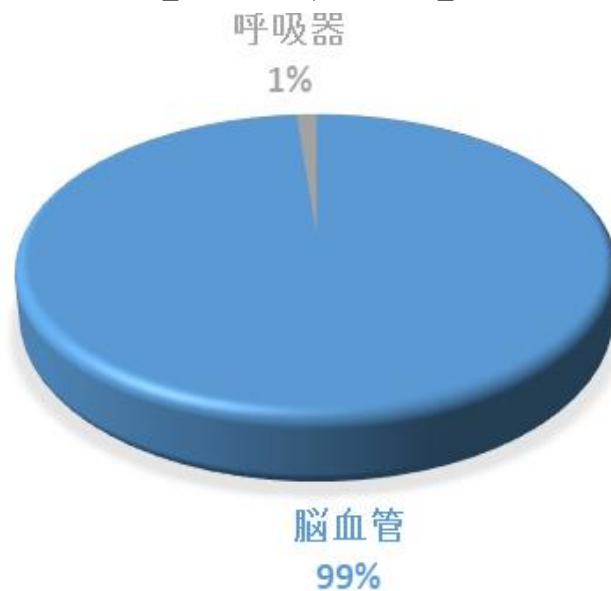


急性期病棟・回復期病棟・地域包括ケア病棟など病棟ごとに
対象疾患の層は大きく異なります

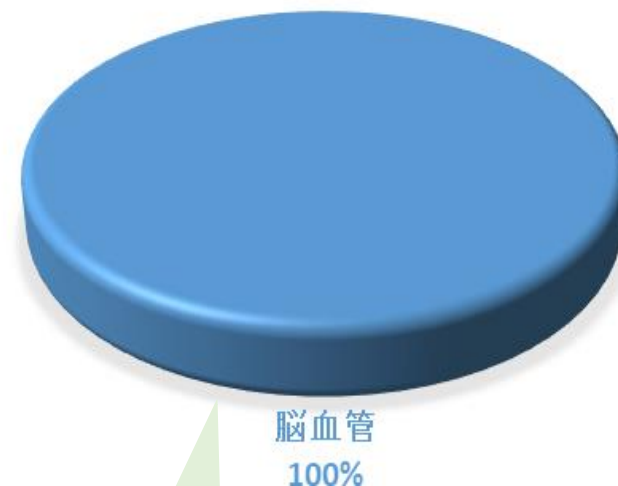
※詳しくは説明会などでお伝えいたします

【外来】

【リハ科処方】



【小児科処方】



【小児リハ】

*現在、300名程度の外来通院者。0～50歳まで。

*脳性麻痺や重症心身障害児など、先天性・後天性の麻痺症例が中心。

*最近では発達障害児も増加傾向（特にOT・ST）

各職種ごとに行っている仕事

PT

- *ボトックス (BTX) 後介入 ニューロリハビリ
- *呼吸リハビリ (NPPV、MI-Eなど)
- *補装具対応 (成人・小児) 地域連携 (学校訪問等)

OT

- *【成人】CI療法・BTX後介入 嚥下リハ 高次脳機能障害への介入
就労支援など
- 【小児】上肢・協調運動 (不器用) の向上、視知覚の向上
摂食嚥下機能の獲得、補装具の選定、学校と連携

ST

- *【成人】摂食嚥下障害の評価と治療と指導、高次脳機能障害の介入、
運転支援 (教習所と連携) 等
- 【小児】コミュニケーション指導、摂食嚥下機能の獲得・指導
学習困難に対する指導・助言 等

チーム担当制とは別に、横断的チームとして多職種と連携して専門的な診療に対応するチームもあり、兼任しているスタッフもいます

小児

*構成:小児科Dr, PT, OT, ST
心理師

*脳性まひ児・者, 重症心身障害児,
発達障害児に対するリハビリ
嚥下評価・指導
積極的な地域連携

嚥下

*構成:リハ科Dr, PT, OT, ST
栄養科, 調理師

*嚥下評価(VFやVE)を中心に実施
*患者様の嚥下食を検討する

呼吸

*構成:小児科Dr, PT, 看護師

*重症児に対するNPPV導入と定期
フォロー入院を担当.
人工呼吸器に関わる.

スタッフ保有の資格一覧

認定資格

- 認定理学療法士 4名 (発達障害 2名 / 運動器 1名)
(臨床教育 1名)
- 3学会合同認定呼吸療法士 6名
- NST専門士 2名
- 摂食嚥下リハビリテーション認定士 1名
- 認知症ケア上級専門士 1名
- 認定心理士 1名
- 終末期ケア専門士 2名
- 福祉住環境コーディネーター 2名
- 認定スクールトレーナー 1名
- 日本理学療法士会 協会指定管理者(上級) 1名
- 地域包括ケア推進リーダー1名

講習会受講

- 腎臓リハビリガイドライン講習会修了 3名
- ボバース概念小児領域基礎講習会修了 3名
- // 上級講習会修了 1名
- 車椅子シーティング基礎講習会修了 2名
- 川平法 基礎講習会 1名
- 実技研修入門講座 1名
- LSVT-BIG 終了 1名

多様な患者さまに対応していくために、
さまざまな資格・研修ををすすめながら
働いている先輩たちがいます!!

スタッフ 総数 43名

PT 26名

OT 10名

ST 7名

*セラピスト以外:事務1名、助手1名

平均年齢 32.2歳

20代:21名 30代:16名 40代7名 50代 1名

男女数 男性:16名 女性:27名

目標単位 平均16単位

残業時間 平均5~6時間

有給取得率 98%

時短利用者 4名

定着率 91% (2025年度実績)

女性職員が
多い!

子育て世代も
多い!

勤務時間が
短いので
単位設定が低め

育成方針

- * 即戦力を目指したスタッフ育成を行う
- * 責任を伴う自由を実行できる人材育成を行う
- * 患者さまファーストのマインドを育成する

Specialty

専門的な
知識や技術

Generality

広範囲な
知識や技術

様々な病態・年齢など幅広い患者さんに対応できる
セラピスト育成を進めています!

育成方法

* 千葉健生病院と同様の研修要綱に準ずる。

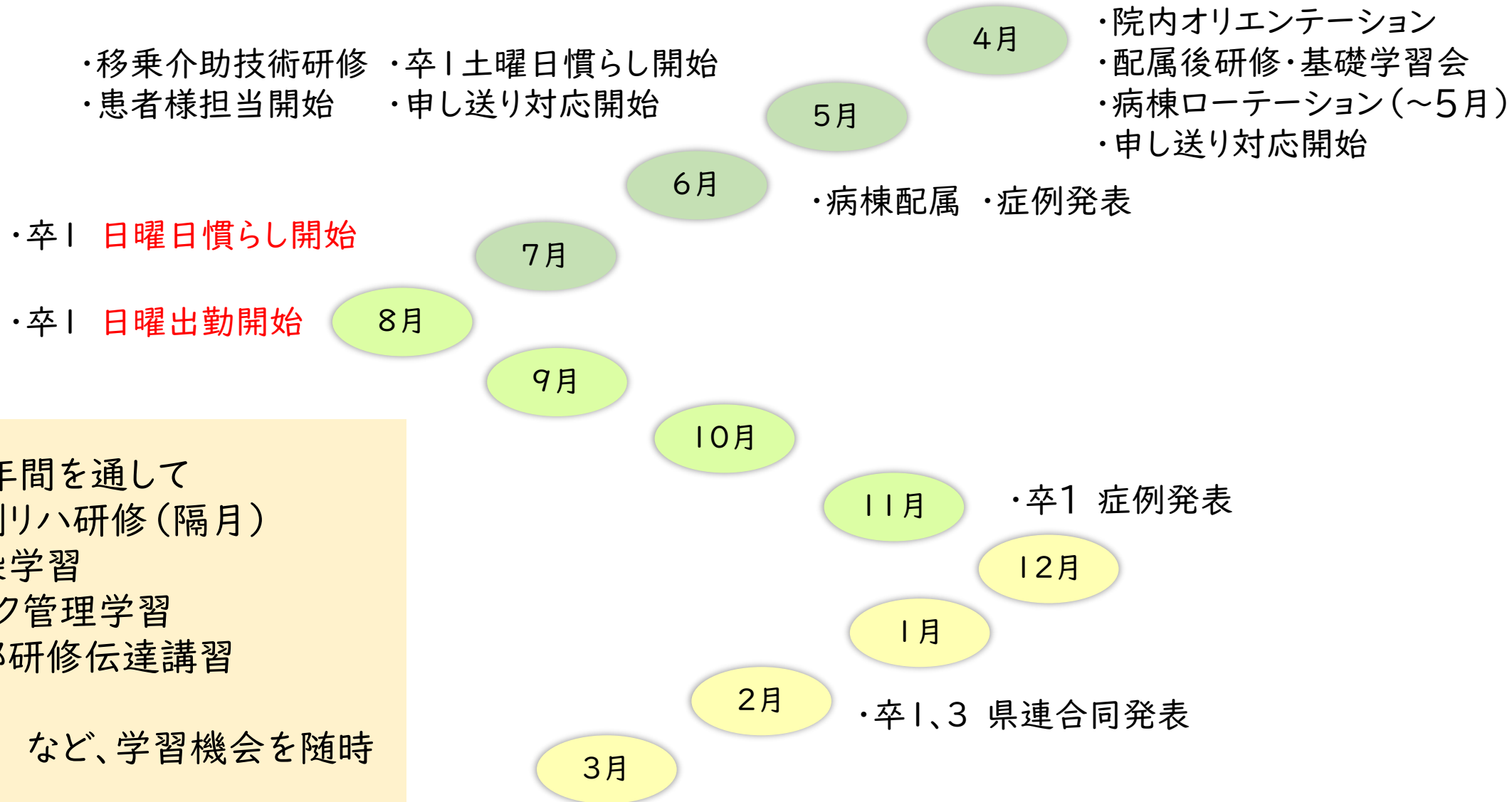
- | | |
|---------|----------------------------|
| 新人研修 | ▶ 卒後1年から3年目のスタッフ |
| 中堅研修 | ▶ 4年目以降のスタッフ |
| 役職者研修 | ▶ 役職者（技士長・副技士長・主任） |
| 中途採用者研修 | ▶ 中途採用者プログラム活用（未経験分野を主とする） |
| 復帰者研修 | ▶ 復帰日にオリエンテーション実施 |

新人研修

1年目の流れ(イメージ)

卒1 院内業務自立

*自立とは・・・適切なタイミングで連絡・相談ができること



その他、年間を通して

- ①定例リハ研修(隔月)
- ②感染学習
- ③リスク管理学習
- ④外部研修伝達講習

など、学習機会を随時



お気軽に見学・説明会にお越しください

交通アクセス



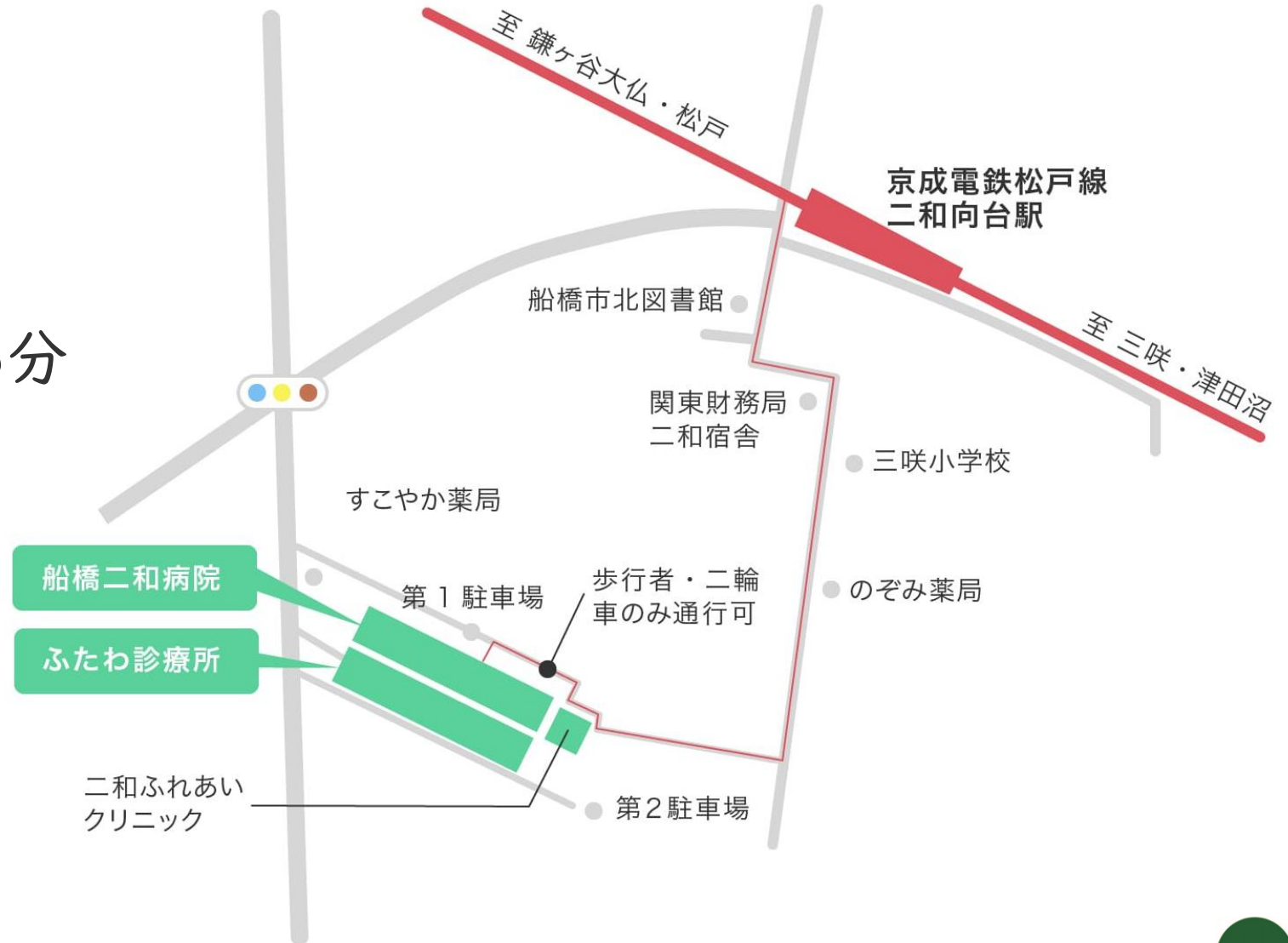
船橋駅から内陸へ30分

最寄り駅：京成松戸線「二和向台駅」

交通アクセス

京成松戸線 (旧:新京成線)

「二和向台駅」を下車徒歩6分



(住所) 千葉県船橋市二和東5-1-1